



Subaru

男声合唱団

ニュース№550

‘16. 2. 23

男声合唱団としての魅力を歌に！2月21日

うたごえの合唱団「昴」の”進化した姿“を レッスンでさらに高めよう！！

□2月21日(日)14:00~17:00「昴」定例レッスンが行われました。佃さんの体操と伊藤さんのボイストレーニングのあと、伊藤副指揮者の指揮で「斎太郎節」を、本並先生の指揮で「川の流れのように」「サム・トウ・ソリ」合同合唱曲「並んで歩かなくても」、そして新曲「底力のタンゴ」と、それぞれ歌って楽しい4曲をレッスンしました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全29名でした。



□「川の流れのように」は第8回・第9回コンサートでも歌われ、「昴」の愛唱歌の一つでもあり、またポピュラーな歌として親しまれています。2部合唱曲で歌いやすく、新入団員にも歌ってもらおうと選曲されました。指揮者は、歌の基本にかえり「うたを上手に歌うためには、一つの歌詞の連なり(フレージング)をどう表現して歌うか(アーティキュレーション)。フレージングをうまく作っていくと上手に聞こえる！」と、団員の歌う「川の流れのように」をフレーズ毎にわかりやすい説明と歌い方のアドバイスを自分で歌いながらされ、作品は素晴らしい合唱曲となりました。

□「底力のタンゴ」は「昴」としては初めての声合わせの新曲。今日は言葉に詰まりながらも、関西弁の歌詞も入った日本語の言葉の面白しさに興じて楽しく曲を歌っていきました。

□連絡事項・運営委員会報告等

●2月21日(日)11:00より「運営委員会」が開催されました。報告事項等として(概略)

1. 「第10回記念コンサート」について

●入場者数749名・チケット売数803枚(完売)、各関係者のご協力のもと、大成功であったこと。特にチケット担当の山本さんの奮闘・努力で、配券・入金もスムーズに進み、当日のトラブルもなかったことは特筆ものであること。

●指揮者：本並・伊藤、ピアノ：森・近藤、団員38名・特別団員16名全員が舞台に立てたことを喜び合いたいと思います。

●スタッフのみなさん：表方：吉本さん・佐藤さん・アルバイト4名、司会：林さん、舞台監督：溝口さん、ビデオ：田中さんありがとうございました。

●財政部長より「決算報告書」に基づいて「収支決算報告」の説明があり、承認されました。いずみホールでの約58万円の黒字計上は評価に値する。団員の皆さんのがんばりの賜物である。今後の「昴」の活動に充てたいと思います。

●160名近くの「アンケート」に寄せられたコンサートへの評価・大きな感動と歓びのステージとなつたことをまず喜びたい。

●指揮者からは、

① 「いずみホール」で「昴」はうまく歌えるのか?と心配したが、杞憂で良かった。これまでのコンサートの中でも合唱として一番まとまって表現できたのではないか。めったに歌えない場所での合唱・コンサートができる、夢がかなった!

②技術的には課題あり。歌の頭の出だしがしっかり出ていない曲が何曲もあった。歌詞を覚えていない曲は特にそうなる。また活舌が悪くなっていることも事実。「歌詞が良く聞こえなかった」との感想には、発声上の問題を粘り強くレッスンでやっていくしかない。

③ 「2部の後半、集中力に欠けて地声が出たり、不揃いだったりしなかったか」の質問に対しては、後半も「地底のうた」以降、盛り上がって、気持ちが乗って精一杯やったと思う。指揮者としても満足感がある。技術的には課題があるが・・・。男声合唱団で「昴」はしっかりやっている、健闘している。(「昴」以外には「ナニワコラリーズ」あり)

●選曲については、これまでの「昴」のベストアルバム曲、うたごえ運動の歌を広めよう!との思いも重なったメッセージ性の高い曲、そして「自分たちの歌いたいうたを!」の気持ちは大事にしたい。男声合唱組曲「地底のうた」を今歌ったことは「優れたうたごえ運動の継続性」の意味からも大きい。ポピュラーな親しまれている曲や日本民謡・ロシア民謡をプログラムに。また優れた組曲を作品として歌うことは今後の検討課題。

●林さんの見事な司会、情景描写や曲の成立背景等もよく解説していただいた。事前に司会原稿をしっかりと検討したことによかった。

2. 技術部会より報告がありました。

①練習曲について

「泉のうた」は「昴」にとって難曲である。新入団員が入ったこともあり、今現在毎回のレッスンでじっくり時間を使ってはむつかしい。時間をかけて仕上げていきたい。新入部員も歌いやすい曲も取り上げたい。「川の流れのように」「底力のタンゴ」等。10回コンサートのベストアルバム

20曲は「昂」の十八番。これからのレッスンにも出したい。「山賊のギャロップ」も「昂」に向いている面白い曲。

- ② 新入団員のケアの問題。パートの中でのマンツーマンでのフォロー・ケアをする必要がある。できるだけ早く「昂」になじんでもらえるようにパートマネージャーやパートリーダーを中心に対策を。レッスン時の座る位置もよく歌える人の横に座ってもらうように配慮すること。
- ③ バリトンとバスのパートレッスンを合同で行うことについて。両者のマネージャー・リーダーを中心とした話し合いの結果、3月から第2火曜日で定例化することになったとの報告がありました。

3. 「2016 日本のうたごえ総会」（2月13日から14日）大阪天満研修センターに「昂」からオブザーバーとして立川さんと山本力さんが参加されました。（「昂ニュース 549号」に寄稿）

4. 「大阪のうたごえ総会」が3月6日(日)10:00～国労会館で開催。昂から立川・大畠・榎本・川妻さんが代議員として参加。「昂」の活動・日中友好国際交流や中学生との合唱交流について発言予定。

5. 2016年の合唱発表会について

南部地域：8月21日(日) 東成区民センター

大阪うたごえ：9月18日(日) LIC はびきの

日本のうたごえ祭典 in 愛媛：11月11日(金)～13日(日) 松山市

6. 故橋本邦久さんの「合同慰靈碑(解放運動無名戦士の碑)」建設カンパのお願い

東京・青山と奈良・生駒に故橋本邦久さんを含め数十名の合同無名戦士の碑を建設ことになりました(総額400万円)。相応のカンパをお願いします。

